

連載5
ウガミヤフラ(こんにはは)
鹿児島事務所
です!

桑の日フェスタ! 開催

今年の1月に県内の桑生産農家や加工業者、自治体としては知名町などが参加して設立した「かごしま桑振興会」主催(10団体)の初めての大きなイベントとなる「第1回桑の日フェスタ」が、9月8日の桑の日に、ドルフィンポートで開催されました。心配された台風の影響も無く、開会の午前11時には会場にはすでに多くのお客さんが集まっていました。

開会のセレモニーでは、鹿児島産の桑の安心・安全の印として、かごしま桑振興会が独自の基準で認定した商品につける認証マーク及びロゴマークの発表や、夏休みに県内の小学生等から募集した「桑のある風景」絵画コンクールの表彰がありました。知名町から田皆小学校2年生の岡越誉さんが優秀賞を受賞しました。

会場では、知名町産のしほ桑粉末を使用した桑茶の試飲や、洋菓子店「パティスリーヤナギムラ」とコラボした桑スイーツの限定販売、絵画コンクールに出展していただ

た皆さんの絵の展示など多彩な催しが行われました。このほか会場には、かいこの展示もあり、本物のかいこを見るのは初めての方がほとんどで、小学生の男の子は手のひらにのせたり、桑の葉を食べさせたり興味深そうに観察していました。

まだまだ知名度の低い桑ですが、桑の葉にはカルシウムをはじめ血糖値を安定させる作用や便秘の解消、ダイエツト効果、動脈硬化の予防など多数の効果があるといわれています。桑の驚くべき効能が注目され生産農家も増加しています。

安全で安心、そして体に良い桑が攻めの品目となるよう、これからも様々なイベントを通じてPRしていきたいと思

所長 元栄 吉治



New books

話題の本、入荷しました!

『世界を見る目危機を見る目』

黒田東彦/著 日経BP社
2013年3月、アジア開発銀行(ADB)総裁から日本銀行総裁へ転身した著者が、8年間に及ぶADB時代に、中国・インドなど新興国の台頭による世界経済地図の激変の中で綴った現場報告。『知遊』掲載の論考を中心に収録。



『北の街物語』

内田康夫/著 中央公論新社
北区在住の彫刻家の自宅から妖精像が消えた。同じ頃、荒川河川敷で絞殺死体が見つかる。浅見光彦は、一見、何の繋がりもない2つの事件に4桁の数字という共通点を見つけ…。『Yorimo』連載を加筆し単行本化。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>



ペットボトルのキャップとプルタブを贈呈

知名字青年団(東山栄仁団長)が、9月25日に、ペットボトルのキャップ等の収集を行っている、知名町青年連絡協議会(宗村好信団長)に、2か月をかけて団員が収集した、キャップ8・2キ、プルタブ2・9キを贈呈しました。



ペットボトルのキャップを贈呈する東山団長(写真右)

善意 知名町ふるさとまちづくり基金(ふるさと納税)へのご寄附、お礼申し上げます。

ご氏名 (敬称略)	ご住所	ご寄附金額
伊井 輝男	兵庫県加古川市	20,000円

※ご了解いただいたものについて掲載しています。